

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学は今年、学園創立140周年・大学創立50周年を迎え、新たな節目の年に相応しく、新たな飛躍の年として、観光コミュニティ学部（観光デザイン学科・コミュニティデザイン学科）の第1期生を迎え、表紙の写真にあるようにコミュニティデザイン学科の目指す教育実践のスタートとなる、オリエンテーションの一部を紹介しております。

今後ますます活発となる、地域連携の推進、国際交流活動の充実等に積極的に参加する学生達の姿は、まさに「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」教育を目指したものであり、学内外での活動の一端をご紹介します。

記事内容

| | |
|---|------|
| ○跡見花躰記念奨学生表彰 | (2) |
| ○地域連携事業！！ ○大学創設50周年 | (3) |
| ○第48回 紫祭『Bouquet』 ○学生会情報 | (4) |
| ○CLUB NOW ○全学教育・研究支援委員会主催 FD講演会報告 ○図書館トピックス | (5) |
| ○ゼミ紹介 ○観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科オリエンテーション実施報告 | (6) |
| ○観光デザイン学科オリエンテーション終了報告 | (6) |
| ○国際交流課 夏期海外語学研修のご報告 | (7) |
| ○2014年度 内定獲得者の声 | (8) |
| ○「ATOMIインターンシップ」実施報告 ○平成27年度アカデミックインターンシップの概況 | (8) |
| ○平成25年～27年 名誉教授ご紹介 | (9) |
| ○平成27年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」 | (10) |
| ○平成28年度 大学入試日程 | (11) |
| ○行事予定 ○節電の取組 ○花躰記念資料館だより ○編集後記 | (12) |

跡見花蹊記念奨学生表彰

平成27年6月19日(新座キャンパス)および平成27年6月23日(文京キャンパス)に学業奨励賞として跡見花蹊記念奨学生82名が表彰されました。

奨学生は前年度の学業成績上位者から選考され、表彰状と奨学金(授業料の1学期分相当額)が支給されました。

学部2年生

●文学部人文学科

石井 香央莉 大竹 遥香 光野 奈美
東小川 真由 吉田 綾音 石垣 美沙
吉田 夏奈子

●文学部現代文化表現学科

加藤 真理 津波古 優菜 横塚 麻奈美

●文学部コミュニケーション文化学科

金子 菜瑠 木村 夢乃 寺田 麻未

●文学部臨床心理学科

樺澤 麻美 須藤 瞳 松山 千華

●マネジメント学部マネジメント学科

大山 紗帆 関 静香 高橋 有佳里

福島 愛紗美 藤本 菜摘 三浦 あすか

仲主 香穂

●マネジメント学部観光マネジメント学科

榎本 可菜 砂田 満梨奈 米山 綾那

●マネジメント学部生活環境マネジメント学科

園中 杏奈 丸山 芽衣

学部4年生

●文学部人文学科

坂本 保奈美 崎野 真実 田口 奈々美

長崎 はるか 馬場 菜月 本間 浩菜

●文学部現代文化表現学科

新井 はな 加藤 真帆 滝澤 咲弥

●文学部コミュニケーション文化学科

内山 佳穂 三澤 花英 山岡 真祐実

●文学部臨床心理学科

金田 侑子 齋藤 志麻 鈴木 久美子

宮澤 友花里

●マネジメント学部マネジメント学科

桑谷 実幸 齋藤 彩乃 竹内 志帆

浜口 理菜 山本 絵理香 平船 優花

●マネジメント学部観光マネジメント学科

粕谷 美香 神田 詩織 穴戸 結貴

●マネジメント学部生活環境マネジメント学科

神田 瑛沙 野口 瑠香

学部3年生

●文学部人文学科

池田 理沙 大崎 夏美 清野 友紀子

黒沢 奈央 小西 理恵子

●文学部現代文化表現学科

中村 優香 納谷 香苗 三縞 静香

●文学部コミュニケーション文化学科

新藤 美憂 松尾 かおり 道宗 三芳

●文学部臨床心理学科

荻野 友梨香 杉原 綾 山田 美帆

●マネジメント学部マネジメント学科

飯塚 彩加 荻野 詩織 椎木 優佳

須山 楓 田中 理紗 唐司 千歌

●マネジメント学部観光マネジメント学科

高城 文乃 筒場 理子 廣田 恵

●マネジメント学部生活環境マネジメント学科

田嶋 桜

大学院2年生

●人文科学研究科日本文化専攻

平澤 愛美

●人文科学研究科臨床心理学専攻

篠崎 恵

●マネジメント研究科マネジメント専攻

肖 思



跡見校友会一紫会大学院奨学生表彰

平成27年6月26日に学業奨励賞として3名の跡見校友会一紫会大学院奨学生が表彰されました。奨学生は前年度の学業成績上位者の中から決定し、表彰状と奨学金(授業料の一学期分の二分の一相当額)が支給されました。

大学院2年生

●人文科学研究科日本文化専攻

吉川 美紗紀

●人文科学研究科臨床心理学専攻

鹿子田 睦月

●マネジメント研究科マネジメント専攻

有働 ななえ

地域連携事業!!

地域社会との連携を深め、より地域に開かれた大学を目指すため、本年度4月、事務局に地域連携専門部署が設置されました。本格的な始動から4か月が経過し、その間、いくつかの事業を実施し、徐々にその活動が軌道に乗っています。

【5月～7月】跡見ギャラリーにおいて、文京区「文の京介護予防体操」を毎週水曜日に実施。臨床心理学科・阿部ゼミの学生ボランティアと一緒に体操に参加し参加者と交流を深めるとともに、認知症予防に効果がある手遊びや簡単なゲーム等のレクリエーションを担当し、大会場ならではの取り組みは参加者に好評を得ています。

【7月初旬】今回は初めて、高齢者クラブの方々の活動拠点である目白台交流館へ出向き、地域の高齢者と臨床心理学科・宮岡ゼミの学生と一緒にお茶を飲みながら簡単なゲームやおしゃべりをして楽しく過ごし、異世代交流を深める会「シニアカフェ」が開催されました。宮岡教授による「高齢者のこころの健康」をテーマにしたミニ講座など、地域の高齢者が心身ともに健康で過ごすための予防的プログラムも実施し、好評を得ています。

【7月18・19日】マネジメント学科・佐藤ゼミ有志の学生とコミュニティデザイン学科の学生がともに文京区の朝顔・ほおずき市に参加しました。学生が地元商店会の実行委員会の方々と準備や出店の運営を通じて交流を深めながら、若い力でお祭りを盛り上げました。同日の朝には文京区高齢者クラブの講師による、ゆかたの着付け教室も開催され、艶やかなゆかた姿の学生たちはオープニングセレモニーや、朝顔・ほおずきの販売ボランティアにも参加。また、文京キャンパスからほど近い、障害者福祉施設との初めての共同企画として、障害者の方々と共に、同じテント内でパンの販売をしました。普段接する機会の少ない障害者の方々と交流を持つことができたことは、大変貴重な経験となりました。

これらいずれの地域連携事業においても、学生たちの若い力が必要不可欠となります。地域社会や行政にとっては、既存の在り方に捉われない、学生の自由で新鮮な発想力や行動力が地域コミュニティに新たな風を吹き込み、明るさをもたらすことは大変喜ばれています。また一方で、各種の活動に学生が参加することにより、学生が社会人としての在り方を学ぶ教育的施策としては非常に有効です。教養教育を行いながら、行動力、実践力を持って新しい時代を生きていくための力強さと、人を思いやる「やさしさ」を兼ね備える人材を育て、社会との接点を大切にする「教養実践」を行うことは本学の理念でもあります。地域社会の「大人たち」とともに各種行事に参加させてもらうことで、時には失敗しながらも机上の学問では決して学ぶことのできない協調性や調整能力を育み、社会とのつながりや、地域の中の一員として生きていくことの大切さを肌で感じ学ぶことのできる、この上ない機会となります。

一人でも多くの学生がこの連携事業にかかわることによって、より有意義な実りある学生生活となるよう、また「自律し自立した女性」を育て社会貢献できる人材を送り出すことができるよう、大学として今後とも努力して参ります。

秋学期の主な行事予定

1. 災害時母子避難所訓練(9月)、災害ボランティア
2. 高齢者との料理教室・食事会(10月～)
3. 文の京介護予防体操(10月～)
4. 健康まち歩き(11月)
5. いきいきシニアのつどい(11月)
6. 江戸川橋総合福祉センター福祉祭り(11月)
7. ぶんにご大塚(～12月)
8. シニアカフェ(12月)
9. 認知症サポーター養成講座他

大学創設50周年

大学広報誌「跡見学園女子大学学报」を振り返る

大学広報誌の歴史は、昭和55年7月15日創刊号の発行から始まる。大学創設以来、学内の情報は学内報が担っていた。編集後記「発刊に際して」をみると、学内に対しては学内報で、学外に対しては、学内報をご覧いただくか、個別事項を整理したものを情報として伝えていた。当時、情報量は次第に増加し、伝える対象者の数も増えてきた。学生の保護者の方々のみならず、地域社会、マスコミ関係、他大学との情報交換等、定期的に本学の動向を伝えることが、大学の将来に対して大切なことであると述べられている。また引用すれば「とにかく学生の御両親は、大学の近況についての情報が不足しがちになります。この学報が、親子の対話に少しでも役立てばと期待しております。」とある。これは発刊以来86号となるこの号でも同様の思いで続けている。

現在は、学報を年3回発行し、情報量も多くなっている。また、情報発信のツールも学報だけでなく、ホームページや学園広報誌『Blossom』など多岐にわたる。

その中でも、大学の研究活動や学生のゼミやサークル活動、国際交流や地域連携に関する情報等を発信してきた学報は、大学創立50年の歴史を記録してきた大切な財産である。



【創刊号表紙】

【平成5年から題字を前田舜次郎先生筆に変更した】



ごきげんよう！今年のテーマは『Bouquet』。

紫祭が開催される新座キャンパスでは一年を通じて様々な花が咲き、私たちはその花々に囲まれて学生生活を送っています。今年、跡見学園女子大学は開学50周年を迎えました。これまでにご卒業された先輩方から受け継いできた伝統と私たちが後輩に残していきたい想いを四季折々の花々に見立て、それらを1つにできる「Bouquet(ブーケ)」を作りました。

このブーケを先輩から私たち、そして後輩へと、次々に繋いでいきたいという願いを込めています。



参加団体企画一覧

飲食販売

- | | | | |
|----------------|----------------|------------|--------------|
| ○山澤ゼミ3年 | ○村上ゼミ2年 | ○村上ゼミ3年 | ○村上ゼミ4年 |
| ○佐藤ゼミ2年 | ○佐藤ゼミ3年 | ○佐藤ゼミ4年 | ○山下ゼミ |
| ○ロリーポップ | ○パドミントン部 | ○バスケットボール部 | ○マンドリンクラブ |
| ○学生会本部 | ○心理学検定部 | ○軟式野球部 | ○バレーボール部 |
| ○茶道部 | ○チョコレート愛好会 | ○紅茶クラブ | ○CO-OP GIRLS |
| ○跡見ニューツーリズム研究会 | ○ボランティアサークルさくら | ○紫祭実行委員会 | ○やまいち |

展示・発表

- | | | | |
|------------------|-------------|----------------|------------|
| ○ルネサンスクラブ | ○田中ゼミ4年 | ○田中ゼミ3年 | ○書道部 |
| ○写真部 | ○合唱団 | ○軽音楽部 | ○不可思議研究愛好会 |
| ○焼き物研究部 | ○美術部 | ○紫祭実行委員会 企画局 | ○映像映画愛好部 |
| ○演劇部 | ○広告研究部 | ○お絵かき同好会 | ○アイドル文化研究会 |
| ○漫画研究部 | ○ダンス部A☆fig | ○文学研究部 | ○山澤ゼミ2年 |
| ○サイコロ倶楽部 | ○エコキャンパス研究会 | ○競技ダンス部 | ○放送文化研究部 |
| ○図書館ボランティア・かるた部会 | ○フラッシュモ部 | ○跡見ウィンドオーケストラ部 | |

*企画内容は変更する場合がございます。ご了承ください。

学生会情報

学生会本部 会長 浅子 如奈

ごきげんよう。空は深く澄み渡りさわやかな季節となり、秋学期が始まりました。今回は6月に開催されました学生総会及び学長と語る会についてご報告いたします。

学生総会では、平成26年度決算報告、平成27年度予算案及び新規設立団体等の審議を行い、すべて無事承認されました。学長と語る会では、学長、副学長、学務部長、事務局長にご出席いただき事前に寄せられた、自動販売機の設置、通年科目の増加について、またその場で出た案など多くの要望に丁寧なご回答をいただき、全体の要望について前向きなご意見をいただくことができました。ご出席くださいました先生方、学生の皆さん、ご協力ありがとうございました。今回出席できなかった皆さんは是非議事録をご覧ください。来年度以降もより良い会が開催できるよう努力をしていきたいと思っております。

そして、最後にご案内を1つお知らせいたします。今年の紫祭は10月31日・11月1日の2日間にわたって開催されます。学生会本部は毎年恒例となります実行委員会との共催である後夜祭で模擬店コンテストと花火の打ち上げを行います。紫祭の締めくくりに秋の夜空に打ち上がる美しい花火を是非ご覧ください。皆さんのご参加をお待ちしています。



CLUB Now

ダンス部A☆fig

皆さんこんにちは。ダンス部A☆figです。私たちは、JAZZ、HIPHOP、GIRLSなど様々なジャンルを週に2日、楽しく練習しています。週に2日の練習のうち1日は講師の先生を招いてレッスンを行っています。

定例活動以外には夏休みの合宿や、日頃の練習の成果を発表できる、「紫祭」、「PARTNER」、「YOU FES」といったダンスイベントに参加しています。紫祭では、コンセプトや構成、衣装までも自分たちで考え、一つのステージを作り上げるので楽しさとやりがいをとて感じることができます。先生が振付をしてくださるものや、自分たちで振付を考えるナンバーもあるので、とても良い経験であり、みんなで話し合いながらナンバーを作り上げるので、部員同士の仲も深まりとても楽しいです。

今年の紫祭(10/31.11/1)もステージ発表を行う予定なので、ぜひお越しください！紫祭だけでなく外部のイベントにも足を運んでいただけたら嬉しいです。興味のある方はダンス部にお声かけください！



図書館トピックス

1、図書の特典現地学校への寄贈

9月に図書館では、平成26年度除籍図書1,337点をタイの学校で日本語を学ぶ学生のために、日本タイ協会を通じてタイの現地学校に寄贈しました。

2、新任教員への図書館オリエンテーション実施

平成27年5月13日(水)、新座図書館視聴覚ホールで新任教員への図書館オリエンテーションを実施しました。図書館をより良く利用いただけるよう「図書購入希望方法」「OPAC検索」「学内専用データベース紹介」の他、昨年度より開始した「学修支援プログラム」を説明しました。

3、図書館ボランティアによる七夕イベントの実施

7月1日(水)から7月8日(水)の間、本学両キャンパスで図書館ボランティアによる「七夕イベント」が開催され、十文字学園女子大学・お茶の水女子大学などの相互協力大学図書館と「七夕交流」を実施しました。

十文字学園女子大学では、文芸文化学科・メディアコミュニケーション学科等が企画主催して「七夕Eve Fes 4th 2015」が行われ、浴衣姿のライブライブラリーサ

全学教育・研究支援委員会主催

FD講演会報告

全学教育・研究支援委員会 委員長 神山 伸弘

研究倫理と研究不正
—研究活動の「公正さ」をいかに守るか—

岡林 浩嗣氏 (筑波大学)

研究倫理を守り不正を行わないことは、いままで研究者各人の自覚に委ねられてきましたが、今日では、研究機関の取り組みとなるよう要請されるに至っています。そこで、まず、研究者として公正なあり方とはなにかを再確認するところから出発したいと考え、この分野の教育に取り組んでいる筑波大学の岡林浩嗣氏にご講演いただきました。59名の出席者は、真剣に聴き入っていました。

岡林氏は、研究不正による影響の大きさを再認識し、「研究倫理」をたんなる道徳的理念ではなく、研究活動上の「リスク管理」としてとらえることを力説されました。今日の研究環境では、研究それ自体に説明責任や効率化、短期的な正確性が求められています。こうしたなかで、悪意がなくとも研究不正が起こりうることに向き合わなければなりません。研究不正には、捏造、改竄、剽窃といった周知のもののみならず、広義には、業績を過大評価する「過信」や過大報告する「誇張」も含まれます。このなかで、研究者は、「大学人として期待される行動をとる」という誠実性(integrity)を、みずからの研究課題に即して「問題の構造を理解し」「どうすれば避けられるか」を考え続けるかたちで具体化しなければなりません。

「研究倫理と研究不正」をめぐる広範な領域を、岡林氏は、省くことなく簡明に講義をされました。本学における取り組みの重要な第一歩となりました。

ポーターの学生が本学新座キャンパスの七夕飾りを訪ねてくれました。図書館ボランティアも十文字学園女子大学を訪ね、交流を図りました。

お茶の水女子大学のLiSA(Library Student Assistant)の学生も本学茗荷谷キャンパスの七夕飾りを訪ねてくれました。図書館ボランティアもお茶の水女子大学で実施されたピアノコンサートに参加し、交流を図りました。

4、文京アカデミア講座「夏休み子どもアカデミア」に伴う百人一首展示について

平成27年8月4日(火)、文京キャンパスで「夏休み子どもアカデミア」が行われ、本学植田恭代准教授による授業が実施されました。百人一首の世界を経験できるように、本学所蔵資料の歌仙絵を使用して実際に歌をよむ「百人一首体験」も実施しました。

図書館では、これに合わせて跡見ギャラリーで「百人一首展」を開催しました。展示ケースには、本学所蔵の百人一首「錦百人一首阿川万織 / 勝川春章画」をはじめ約10点の資料とともに壁面には、所蔵作品の写真を大きく引き伸ばし解説を加えたパネル7点が展示されました。

ゼミ紹介

宮崎ゼミ (臨床心理学科)

文学部臨床心理学科 教授 宮崎 圭子

現代の臨床心理学は、サイエンス(科学)をめざして奮闘しています。科学とは実証性に基づいた知識体系です。宮崎ゼミでは、データに依拠した卒論にするよう、ゼミ生に推奨しています。そのため、毎年、殆どのゼミ生、もしくは全員がエビデンス(証拠)・ベースの卒業論文を書いています。3年次では、ウォーミングアップとして、輪講(1冊の本を読み合う)をします。その後、宮崎ゼミの卒業生の卒論・修論紹介をします。これによって、ゼミ生は卒論に対して大まかなイメージを持つことが出来るようです。それをベースにして、その後は自身の卒論テーマの探索開始です。テーマ決定後は、4年の春学期・秋学期初頭までにデータ収集・分析をし、執筆に入ります。一見、堅苦しい雰囲気ですが、茶話会や打ち上げで楽しく「憂さ」(笑)を晴らしあいます。この一連のプロセスの中で身に付けた「科学的視点・科学的思考」は、終生、学生達にとって役立つと信じています。

実践ゼミナール (マーケティング戦略)

マネジメント学部マネジメント学科 教授 山田 満

山田(満)ゼミではマーケティングの基礎理論を学ぶばかりでなくリアルビジネスにおいてゼミ生自身が消費者の立場から発想し企業に提案していく実践活動を通してマーケティングとは何かを体験的に学ぶことを重視しています。そのためBS法やKJ法などの課題解決技法を習得し人前でプレゼンする能力を高め、社会で活躍するために必要な社会人基礎力を身に付けることをめざしています。本年度は「農業をマーケティングしよう」をテーマに掲げ、農業の第6次産業化の最前線である北海道仁木町のワイナリーに対し学内調査結果やゼミ活動で検討したマーケティング課題を社長やスタッフの前でプレゼンしました。またゼミ生7名は10日間のアカデミックインターシップとしてワイナリーでの就農体験を積んだほか町役場のイベントに参加し地元の子どもの交流や夏祭りの手伝いにも協力しました。

観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科
オリエンテーション実施報告観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科主任
矢野 峰生

「人と人をつなぐ」ことに必要な基礎知識や知見を、現場と座学の反復で身につけて頂くことが本学科の目指す教育実践です。オリエンテーションは、その水先案内としての役割を持ちます。同時に、良好な関係を持てる多くの学友、生涯の友を得るための契機を提供することもオリエンテーションの果たすべき重要な役割です。

入学式後に始まった一連のオリエンテーションは、6月13日と14日に行われた合宿の実施で終了したことを報告致します。

今後4年間、学科生はオリエンテーションで提示されたこと、合宿で体験して気づいたこと等を手掛かりに、大学教育で本格的な「学び」の段階に入ります。キャンパス内の教職員や先輩の学友だけでなく、学外の多様なフィールドで頑張っている社会人からも多くのことを学ぶことでしょう。この過程を経て、すべての学科生が自らを取り巻く環境に適切に対応し、人間的な成長を遂げられるように本学科教員は心配りをしています。そして、次年度以降のオリエンテーションを一層充実すべく、学生と共に取り組んでいる次第です。

観光デザイン学科
オリエンテーション終了報告観光コミュニティ学部長
小川 功

平成27年度の学科オリエンテーションは以下のような趣旨と内容で実施しました。

まず新生が履修登録を含む大学での学習に必要な基礎的知識を早期に習得するとともに、新生同士が仲良くなって大学生活に溶け込めることを第一義としました。併せて本学科の学習の特色である地域コミュニティの歴史、文化、風土等を知るための現地調査、交流等の手解きをすることも構想しました。


こうした趣旨を実現するため、今回は学科オリエンテーションを①入学直後に実施する[パートI]と、②訪問先の事前学習を経た後の[パートII]の二部構成としました。②の事前学習に際しては、会津の風土を理解する教材として学科紀要の山崎論文等を活用するとともに、日本史特に幕末史の専門家である文学部三谷教授に幕末における会津藩の特別講義をお願いしました。

国際交流課

夏期海外語学研修のご報告


夏期海外研修総括 全学共通科目運営センター長 石田 信一

今年度の夏期海外研修は英国・国立スターリング大学（H27. 8/2～9/1）、カナダ・ロイヤルローズ大学（H27. 8/10～9/7）、台湾・国立政治大学（H27. 8/2～24）、フランス・西部カトリック大学（H27. 8/3～9/1）の4校で行われた。それぞれの研修の参加者数は、国立スターリング大学14名、国立政治大学4名、ロイヤルローズ大学8名、西部カトリック大学4名であった。国立スターリング大学と国立政治大学、また今年度より始まったフランス・西部カトリック大学のプログラムは、きめ細かな語学（英語/中国語/フランス語）の授業に加え、現地の文化や歴史に触れることができる課外活動も充実しているほか、他大学の学生との交流も活発で、切磋琢磨できる環境が整えられている。一方、ロイヤルローズ大学のプログラムは、社会活動体験を行いながら実践的な英語を身につけられることが特徴となっている。この経験が外国語の運用能力の向上や国際的な視野の獲得につながることに期待したい。


**スターリング大学（イギリス）での
語学研修を終えて**

コミュニティデザイン学科1年 菅原 秀美

私は以前から国際的分野・海外に興味があり、過去にシンガポールなどのアジア圏に行って海外研修をしたことがあります。外国人とのコミュニケーションをとって自分の言いたいことが伝わった時、すごく感動しもっと語学力に力を入れたいという気持ちが深まりこの留学を決意しました。1ヶ月という期間には不安がありましたが、スターリング大学の先生や友人に恵まれた環境の中で語学力向上につながり、異国での寮生活では自分を大きく成長できる日々を送れました。異文化や語学、表現なども多く学べ自分のものになりました。留学は多くのことを学ぶ絶好のチャンスであり、必ず将来に生かせる機会だと思っています。



**ロイヤルローズ大学（カナダ）での
語学研修を終えて**

マネジメント学科1年 古谷 優実

今回の研修は私にとって初めての海外、またホームステイであり、期待と不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、社会体験活動ができるこの研修はとても魅力的であったため参加させていただきました。さらにグローバル社会と言われる中、ビジネス英語を学べたことはとても良かったです。ホストファミリーと一緒にいった研修の仲間にも助けられながら多くのことを学ぶ事ができました。現地でも友達を作ることができました。このような素晴らしい経験を活かし、将来を見据えた努力をし続けようと思います。




**国立政治大学（台湾）での
語学研修を終えて**

人文学科2年 前田 すみれ

今回私は中国語初心者で台湾留学に参加したのですが、とても充実して過ごすことができました。

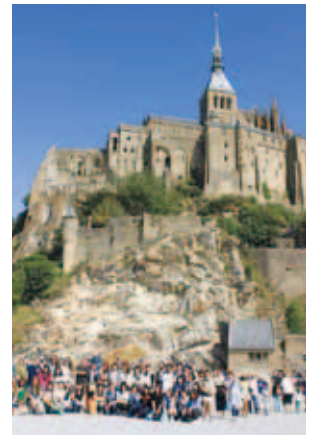
毎日午前中は中国語の授業があり、中国語を初めて習う私でも先生や友達に助けをもらいながら徐々に中国語を習得しました。また、午後は台北市内の観光やワークショップがあり、台湾文化を満喫しました。

異文化の中で過ごすことは慣れないこともたくさんありましたが、どれも貴重な体験になりました。



**西部カトリック大学（フランス）での
語学研修を終えて**

コミュニケーション文化学科2年 千脇 恵理子

このフランス語学研修に参加するまでは、言葉を知らないと言語が下手だと勝手に思い込んでいました。しかし、フランス語のみで行われる授業中、言葉がわからず悩んでいた時、先生はわかりやすい例えをジェスチャーや絵などを用いて伝えてくれました。そのおかげで楽しく授業に参加することができ、話せない、言葉が伝わらないと思っても、弱気にならず、自分の意思を伝えようとする姿勢が大切だと実感しました。今後は言語への理解も深め、今回の研修の成果を活かしていきたいと思っています。

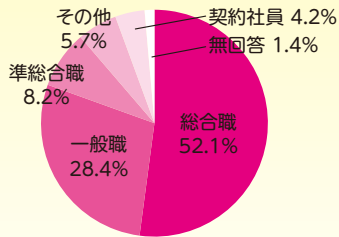


2014年度 内定獲得者の声



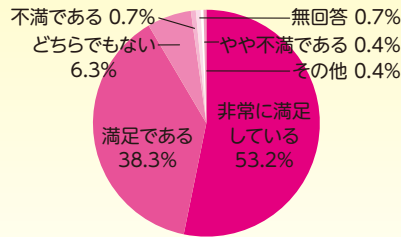
2015年度の就職活動も後半戦へと差し掛かっています。採用スケジュールの変更により企業・学生共に昨年度までとは、大分動きが変わってきています。今年度の結果が出るのはもう少し先になりますが、2014年度の内定獲得者の声をお伝えしたいと思います。まずは、内定獲得者のアンケートから主な項目についてご紹介します。

Q.1 あなたはどの職種に決まりましたか？



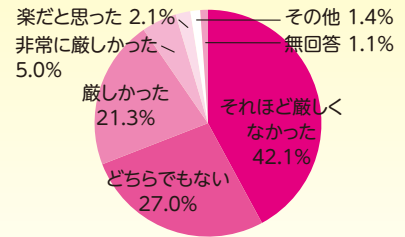
70%の人は、就職活動開始時の志望職種と変わっていない、と答えています。志望職種を変えた人の約半数は、一般職から総合職と志望職種を変更しています。この理由は、一般職の求人数が限られていること、活動を通して視野を広げに行ったことが考えられます。

Q.2 内定企業に満足していますか？



内定企業を決定した主な理由には、①会社の雰囲気がいい ②やりがいがある ③福利厚生が充実している ④成績よりも人物本位の選考 ⑤知名度が高い、などが挙げられました。この結果は2013年度とそれほど変わっていません。

Q.3 2014年度の女子大生の就職状況はいかがでしたか？



2013年度は、「非常に厳しかった」「厳しかった」の合計が約半数でしたが、2014年度は「それほど厳しくなかった」が半数弱となっています。「厳しかった」と答えている人も理由として、主に①準備不足 ②学業成績重視 ③スタートが遅かった、など自分自身の問題を挙げています。

【2015年3月卒業生の現在】

卒業して約半年経った時点で、社会人1年生として頑張っている2015年3月卒業生に、就職活動を振り返ってもらいました。文学部・マネジメント学部から、それぞれ一人ずつ、ご紹介します。

JTB国内旅行企画
仕入販売部 営業開発課

永春 ひとみさん

(2015年3月コミュニケーション文化学科卒)



元々志望業界を決めていたわけはありませんでしたが、就職活動をしながらか自己分析をしていくうちに興味のあった旅行業界と教育業界を志望するようになりました。

学生時代は語学研修やボランティア活動、アルバイトなどやりたいと感じたことには挑戦し、様々な経験を通して成長しながら自分の視野を広げることができました。特に大学二年次に参加した語学研修は、壁にもぶつかりましたがその後の学生生活を充実させる転機となり、そこでの経験が今でも忘れられないものとなっています。就職活動中は悩みや迷いも多く、自分は何がしたいのかわからなくなりくじけそうになったこともありました。実際に選考が始まると一喜一憂することもあり決して順調ではありませんでしたが、自分と向き合い現在の会社と出会うことができました。

現在は商品を創る仕事をしています。一見華やかに見えるかもしれませんが、実際の仕事は難しく先輩方に助けて頂きながら仕事に取り組んでいます。社会人になった今だからこそ多くの挑戦、そして経験を積んでいきたいと思っています。

株式会社ポーラ
訪問販売事業部中国エリア

薄木 翔子さん

(2015年3月マネジメント学科卒)



就職活動は贅沢な時間だったと思います。自分の人生について、とことん考えて、様々な会社の説明を受け、諸先輩方から自分の相談にのってもらえる。こんな贅沢な時間、社会人にならないうち、難しいです。

学生時代にやってよかったと思うことは、「やってみたいと思った事はやる！」「お世話になった方には進路報告をする」この2つです。勉強やサークルはもちろん、社会人の方に混じってイベント運営をしたり、興味が少しでも湧いたものには、足を運びました。おかげで学外の友人はもちろん、様々な会社で働く先輩方から、仕事から恋愛の話まで沢山聞く事ができました。また、そんなご縁を頂いた先輩方には、内定先が決まったり、入社したり、転勤になったときは報告をしています。そして社会人になった今でも、友人や先輩方とはご飯に行ったり、遊んだりしています。社会人になっても無償で、相談を受けてくれたり、社会のことを教えてくださる先輩方には本当に感謝しています。入社して半年。こんなに自分はまだ何もできないんだという悔しさと、思いがけない広島への転勤で家族も友達も居ない寂しさと戦っています。毎日があっという間で、大変なことばかりですが、充実しています！

「ATOMIインターンシップ」実施報告

企業の採用広報・選考時期の変更や採用手法の多様化等、何かと話題となる就職活動。その環境変化を察してか、活動前の3年生、2年生の間でもインターンシップ（就業体験）に対する関心は確実に高まっています。

就職課主催の「ATOMIインターンシップ」は、全3年生と文学部2年生を対象に幅広く募集する形式で、8月～9月の夏季休業期間を利用して実施しています。単位認定は無いものの、企業等が広く一般に募集する「公募型」を補完する位置付けとしても活用されており、今年で実施18年目を迎えました。5月に開催したガイダンスには、昨年約3倍となる600名余りが参加し、過去最大規模となる100名超の実習生が企業・自治体での実習に臨みました。

就職課では、このインターンシップを、自身の将来を考える最良の場の一つであると位置付け、より多くの学生たちに、幅広く業種・職種を知る機会の提供ができるよう受入先の拡大にも努めており、この2年で、業種はそれまでの約2倍、受入先も約3倍となる43社・4自治体に協力いただけるまでとなりました。今後も、学生たちがより納得できる進路選択をできるよう、当プログラムの更なる充実を図ってまいります。

平成27年度 アカデミックインターンシップの概況

マネジメント学部長 大野 二郎

アカデミックインターンシップは、マネジメント学部の恒例の行事で、今年度で13回目、対象はマネジメント学部の2年生が全員で、必修科目となる。学部の開設年度には、学部の教員が手分けして派遣先開拓にあたり、翌年の跡見インターンシップ元年には200名弱の2年生全員を無事に送り出した。

今年度は、観光マネジメント学科が改組して、第3学部が誕生した。このため、マネジメント学部の1年次は2学科体制になり、2年生は最後の3学科体制となる。その規模は430名を数え、派遣先も当初からは大幅に拡大し170社・団体となっている。

当初は自宅などから毎日通勤する形態が主流であったが、その後、リゾートホテルなどでの滞在型インターンが導入され、さらに今年度は、北海道仁木町での「ワイナリー・農園」での町おこし・就業体験型、栃木県茂木町「道の駅もてぎ」や長野県須坂市「ペンション村」での地域活性化・地域貢献型など、多様な形で実施されている。

今年も参加する学生たちに無事の終了と貴重な体験がもたらされることを期待したい。

名誉教授ご紹介

(平成25年～27年)

平成25年度～平成27年度に名誉教授に就任された先生をご紹介します。

質問：①名誉教授就任年月日 ②本学に就任した年月日
③本学を退任した年月日 ④研究領域



村松 加代子 教授

- ①平成25年4月1日
- ②昭和54年4月1日
- ③平成25年3月31日
- ④英国の文化・文学、特に Bloomsbury Group 関連、比較文学



佐藤 史郎 教授

- ①平成26年4月1日
- ②昭和57年4月1日
- ③平成26年3月31日
- ④英語教育、女性の起業



中谷 幸弘 教授

- ①平成27年4月1日
- ②昭和58年4月1日
- ③平成27年3月31日
- ④情報処理・情報処理教育、物理学



奈倉 哲三 教授

- ①平成27年4月1日
- ②平成11年4月1日
- ③平成27年3月31日
- ④日本思想史・日本宗教思想史・戊辰戦争期江戸研究

平成27年度新規採択「科学研究費補助金にかかる研究内容の概要」

研究課題名 「バルカン諸国の歴史教育から見た紛争と和解の研究」

文学部人文学科 教授 石田 信一

バルカン地域は長らく「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれ、実際に20世紀初頭のバルカン戦争や第一次世界大戦の発火点となり、第二次世界大戦や旧ユーゴ紛争で激しい内戦が展開されるなど、宗教的・民族的要素も絡んだ紛争がたえず繰り返されてきたことで知られている。その一方で、住民の和解と共生をめざす動きも確かに見られ、それは歴史教育の分野にも及んでいたはずだが、旧ユーゴ紛争の直後に行われた幾つかの歴史教科書分析の試みによれば、各国の歴史教科書には偏狭なナショナリズムに立脚した民族的対立を助長する記述が少なくなかったことが判明している。それはマスメディアによるプロパガンダと並んで紛争を泥沼化させたネガティブな要因として位置づけられている。

本研究の目的は、紛争が頻発するバルカン諸国の事例から、紛争の原因および和解と共生への道を、歴史教育・教科書を通じて分析・考察することにある。各国の独自性よりも地域全体の共通性を重視する試みに着目しながら、各国の歴史研究や歴史教育の変化と歴史教科書の改訂状況を比較・分析していく、広い視野での共同研究となることが見込まれる。歴史研究および歴史教育・教科書を通じて地域の共通理解をつくり、和解・共生をめざしているバルカン諸国の事例を検討することで、同じように歴史認識の違いや領土問題をめぐって論争が生じている日本を含む東アジアにも適用可能な新たな地域史構築の方法を探りたい。

研究課題名 「英国地方都市における前衛美術運動—リーズ・アーツ・クラブの軌跡」

文学部現代文化表現学科 准教授 要 真理子

英国の地方都市リーズは、しばしばロンドン、マンチェスター、バーミンガムに次ぐ英国第四の都市と言われており、都市圏の規模としては首都ロンドンの約18%（人口比）あるいは約28%（面積比）程度に過ぎない。しかし、リーズ美術学校は、抽象彫刻を国際的に牽引したHenry MooreやBarbara Hepworth、またターナー賞を受賞した現代美術の代表的人物であるDamien Hirstらを輩出し、またリーズ大学の歴代の美術史教授陣には、古くはHerbert Read、Quentin Bell、現在はGriselda Pollockという蒼々たるメンバーが名前を連ねている。もともとリーズ市を含むヨークシャー地方には、1893年にブラッドフォード市で独立労働党（ILP）が結成されたこともあり、革新的な政治理念と先進的な美術実践

が共存する土壌が用意されていた。

本研究においては、これまで日本国内では詳細に紹介されることのなかった「地方都市における前衛美術運動（provincial avant-garde）」としての性格が強いリーズ・アーツ・クラブ（the Leeds Arts Club, 1903-1923）に焦点を当てながら、その活動ならびに思想の独自性を検証する。同時に、この運動と地方都市リーズとの関係を、政治学、文化行政学、教育学の側面も含めつつ分析し、首都ロンドンではなく一地方都市が美術教育と芸術文化振興において大きな役割を果たすようになった経緯を明らかにする。加えて、この研究の成果を踏まえつつ、日本での芸術による地域振興ならびに芸術思想・教育の拠点育成に寄与する提言をまとめることも目指す。

研究課題名 「これからの消費社会に適合する消費者心理指標の構築—現行の消費態度モデルの有効性を検証し、モデルの再構築を図る—」

観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授 佐野 美智子

現在、大衆消費社会を実現した多くの国々では、消費予測のために、消費者心理の指標が使われている。日本で広く利用されているのは、内閣府の消費者態度指数である。消費予測のための心理指標は、消費者の景況感や暮らし向き意識、耐久財の買い時感などが消費意欲を規定するという消費態度モデルをもとに作られている。質問紙調査で各心理要因を測定し、数量化した上で合成した指数が利用される。

消費者心理指標の開発は、第2次大戦後のアメリカで、高度経済成長による豊かな大衆消費社会の到来を背景に始まった。購買力が上昇し、自由裁量の消費の比率が拡大する豊かな社会では、消費支出は所得だけではなく、消費者の「買う気」によって左右されることが調査研究

により実証され、消費意欲を規定する要因が明らかにされた。この消費態度モデルをもとに、消費予測のための心理指標が作成された。それから半世紀以上が経ち、経済社会環境は激変したが、現在でも、このモデルはそのまま利用されている。

本研究は、消費環境が大きく変化の中で、消費者が手に入れたいと考える消費生活の内容が変化していることを明らかにし、消費意欲の規定因を再考することを目的とする。質的調査と量的調査の混合研究法を採用し、質的データに基づく仮説構築と量的データに基づく検証を実施する。実証的手法により、これからの消費社会に適合する新たな消費態度モデルを構築し、消費予測に資する新たな心理指標のあり方について提言する。

平成28年度 大学入試日程

【大学】全学部全学科共通 ※詳細は平成28年度入学試験要項にて確認してください。

| 入試方式 | 出願期間 | | 試験日 | 試験科目・選抜方法 | 合格発表日 |
|-------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------|--------------|
| | 郵送(締切日消印有効) 窓口※1 | | | | |
| 公募推薦(11月期) 帰国生・社会人 | 27年10月26日(月)～11月2日(月) 〔郵送のみ〕 | | 27年11月8日(日) | 書類審査・面接 | 27年11月12日(木) |
| 公募推薦(12月期) | 27年11月30日(月)～12月7日(月) 〔郵送のみ〕 | | 27年12月13日(日) | 書類審査・面接 | 27年12月17日(木) |
| 一般AO入試 | 11月期 | 27年10月26日(月)～11月2日(月) 〔郵送のみ〕 | エントリー後、 面談と課題レポートの作成を経て、 出願へと進みます。 出願後の面談・試験はありません | 面談 課題レポート | 27年11月12日(木) |
| | 12月期 | 27年11月30日(月)～12月7日(月) 〔郵送のみ〕 | | | 27年12月17日(木) |
| 論文AO入試 | 27年11月30日(月)～12月7日(月) 〔郵送のみ〕 | | 27年12月13日(日) | 論文 | 27年12月17日(木) |
| 一般A方式 | A1方式 | 28年1月6日(水)～1月18日(月) | 28年1月24日(日) | 国語、英語、地歴・公民、数学 から2教科にわたり2科目 | 28年1月28日(木) |
| | | 1月19日(火) | | | 28年2月4日(木) |
| | A2方式 ※2 | 28年1月6日(水)～1月22日(金) | 28年2月1日(月) | | 28年2月4日(木) |
| | | 1月25日(月) | | | |
| 一般B方式 | B1方式 | 28年2月2日(火)～2月15日(月) | 28年2月20日(土) | 国語・英語 | 28年2月24日(水) |
| | | 2月16日(火) | | | |
| | B2方式 | 28年2月15日(月)～2月25日(木) | 28年3月2日(水) | | 28年3月5日(土) |
| | | 2月26日(金) | | | |
| 大学入試 センター試験 利用入試 | I期 | 28年1月6日(水)～2月5日(金) | 大学入試センター試験 〔28年1月16日(土)/ 1月17日(日)〕 | 2教科2科目を選択 | 28年2月15日(月) |
| | | 2月8日(月) | | | |
| | II期 | 28年2月22日(月)～3月4日(金) | | 3教科3科目を選択 | 28年3月12日(土) |
| | | 3月7日(月) | | | |
| 編入学・学士入試 (臨床心理学科を除く) | 27年10月26日(月)～10月31日(土) 〔郵送のみ〕 | | 27年11月8日(日) | 筆記試験(小論文)、 口述試験 | 27年11月12日(木) |

※1 窓口出願場所は文京キャンパス、新座キャンパス(10:00～16:00)。

※2 学外試験会場あり(宇都宮・高崎・柏・千葉)。

跡見校友会子女推薦入試がはじまります!

大学開学50周年・学園創立140周年と過去に多くの卒業生を輩出してきたことから、跡見校友会会員の子(孫、姉妹を含む)、または本学(大学院を含む)在学生の姉妹を対象とした推薦入試を創設しました。

- 出願条件 跡見校友会会員の子(孫、姉妹を含む)、または本学(大学院を含む)在学生の姉妹
- 出願期間 27年10月26日(月)～11月2日(月)〔郵送のみ〕 ○試験科目・選抜方法 書類審査・面接
- 試験日 27年11月8日(日) ○合格発表 27年11月12日(木)

【大学院】全研究科全専攻共通 ※詳細は平成28年度入学試験要項にて確認してください。

| 入試方式 | 出願期間 | | 試験日 | 試験科目・選抜方法 | 合格発表日 |
|------------------|---------------------|--|---------------|-----------------------------|-------------|
| | 郵送(締切日消印有効) | | | | |
| 一般・社会人 〔後期試験〕 | 28年1月25日(月)～2月2日(火) | | 28年2月11日(木・祝) | 平成28年度入学試験要項 にて確認してください。 | 28年2月15日(月) |

◆ 行事予定 ◆

| | | |
|-----|-------------------------------|--------------------|
| 10月 | 10月1日(木) | 秋学期通常授業開始 |
| | 10月1日(木)~3日(土)、5日(月) | 秋学期1次履修登録申請期間 |
| | 10月8日(木)~9日(金) | 秋学期2次履修登録申請期間 |
| | 10月12日(月) | 授業実施日 |
| | 10月13日(火)~14日(水) | 履修登録訂正期間 |
| | 10月30日(金) | 紫祭準備日 |
| 11月 | 10月31日(土)~11月1日(日) | 紫祭 |
| | 11月2日(月) | 紫祭後片付日 |
| | 11月3日(火) | 通常授業実施日 |
| 12月 | 11月23日(月) | 通常授業実施日 |
| | 12月23日(水) | 通常授業実施日 |
| 1月 | 12月29日(火)~1月8日(金) | 冬季休業 |
| | 1月8日(金) | 創立記念日 |
| | 1月9日(土) | 通常授業開始 |
| | 1月16日(土)~17日(日) | 大学入試センター試験(休講) |
| | 1月21日(木)~23日(土)、25日(月)~27日(水) | 授業評価期間 |
| 2月 | 1月29日(金)~30日(土) | 補講期間 |
| | 2月1日(月) | 入試(休講) |
| | 2月2日(火)~6日(土)、8日(月) | 秋学期定期試験期間 |
| | 2月9日(火)~10日(水) | 秋学期定期試験予備日・追試験日 |
| 3月 | 2月12日(金)~29日(月) | 補講期間(集中講義等あり) |
| | 3月1日(火)~31日(木) | 春季休業(集中講義・学生面談等あり) |
| | 3月4日(金) | 卒業・修了発表 |
| | 3月10日(木) | 進級発表 |
| | 3月18日(金) | 卒業式 |

花蹊記念資料館だより

墨梅図

(紙本墨書 サイズ127×64cm 明治12年〔1879〕の作)

落款に見える「己卯」は明治12年、花蹊が“不惑”を迎えようとする時期の作である。明治9年、神田猿樂町に跡見女学校が開校され、絵画・習字をはじめ、国語・漢籍・算術・裁縫・琴曲・插花・点茶などの授業が行われたが、その4年目にあたる。当時刊行された『現今 英名百首』には、「東都にいちはやく女学校を開校した女傑」として花蹊の名が挙げられ、また同年11月11日、「花蹊は3人の生徒を従えて宮中に参内し、皇后の御前にて講義し、書画などを供覧した」(11.24付〈朝野新聞〉)とあるように、女子教育に心血を注ぐ花蹊の姿が垣間見られる。



墨梅図を見てみよう。右下の太い幹から四方へ広がる小枝に多数の梅花を描き、紙面の中程からまっすぐ上に伸びる幹を、渴筆を交えながら一気に描き上げ、最上段に再び梅花の一群を配した構図である。真っ先に目に飛び込んでくる樹木のごつごつとした質感は、濃淡の墨によってみごとに表現されている。

紙面の中ほどの余白には、3行で七言詩ならびに落款を記している。

「風送清香松几(机)来
模糊如雪满窓白

自升枝上影徘徊
写出横斜一樹梅

己卯春日 花蹊寫并題

風に運ばれてくる梅の香をかきながら窓越しに満たされる白梅を楽しむ光景を詠んだものであろう。書体は行草体。ときおり縦画を長く強調しながら、筆先の弾力を利かせてしなやかにまとめている。

(花蹊記念資料館館長 横田恭三)

💡 節電の取組

本学の節電への意識的な取り組みを始めて5年が経ち、特に電気使用量の多い夏や冬については、毎年、学生や教職員の皆様にご協力いただいております。昼休みの時間には消灯とし、エアコンの設定温度の調整などを行ってきました。

平成27年度節電対策につき、引き続き学生・教職員の理解のもと節電意識の醸成と実践し、より一層の改善効果をあげるべく取り組んでおります。今後とも御協力をお願い申し上げます。

＜平成27年度取り組み内容＞

- ①クールビズ、ウォームビズを推奨する。
- ②夏季室内温度は、室温28℃とする。
(気温上昇時はエアコン設定温度を下げて調整)
- ③昼休み時間に、職員・学生による館内放送を実施。
節電意識の醸成と実践。
- ④昼休み時間帯の消灯。

● 編集後記 ●

暑い夏が過ぎ、肌寒い季節となりました。

今号では、大学創立50周年を迎える節目として、学報の創刊号が発行された昭和55年からを振り返る記事を掲載しております。今後につきましても、本学の“今”を伝える学報として、さまざまな形で皆様へ情報をお伝えしていきます。